

研究実施のお知らせ

2023 年 1 月 24 日 ver.1.0

研究課題名

腎移植ドナー・レシピエントにおける移植前後の経過に関する後方視的検討

研究の対象となる方

1988 年から 2033 年 3 月に、当院において腎移植のドナーおよびレシピエントとして手術を受けられた方（今後も本研究は延長される見込みです。腎移植実施施設としてデータをまとめて発信する責務を担っているためです。）

研究の目的・意義

腎代替療法（じんだいたいりょうほう、腎不全の患者さんが選択される血液透析、腹膜透析、腎移植）を必要とする末期腎不全に対する医療は日々進歩しており、透析を受ける方は年々増加しています。腎移植は腎を提供するドナー、腎提供を受けるレシピエントの手術からなり、移植後はレシピエントの生活の質（QOL）が改善するとともに、血液透析に比べて約 70%の医療費が削減できるという試算ができています。免疫抑制剤の進歩も目覚ましく、主な合併症である拒絶反応が起きにくくなることで、腎移植後に腎臓が機能している期間は平均約 20 年間といわれています。その 20 年間で削減できる医療費は、腎移植を受けたレシピエント一人当たり平均 8,400 万円が削減できるという試算もあります。

島根大学泌尿器科では 1988 年に第一例目の腎移植を実施し、これまでに約 40 名の方に腎移植を実施して参りました。今後も新しい薬物や手術方法を導入しながら、腎不全患者さんと医療費削減を目標に腎移植を継続してまいります。そのためには、これまでの腎移植における手術方法や免疫抑制療法が正しかったのか、常に検証する必要があります。また、その結果を患者さんや他の医療機関で腎移植に従事する医療従事者に報告していくことも、腎移植実施施設の使命と考えております。そのために、腎移植のドナー、レシピエントにおける腎移植前後の経過に関して、過去のデータを集計して取りまとめる研究を行います。

研究の方法

カルテから、患者さんの背景、腎不全の原因や状態、治療（手術・免疫抑制剤など薬物治療の内容）、治療結果（腎移植手術の経過）、合併症、腎移植後の長期経過などについて情報を収集します。これらの情報を解析して当院での腎移植医療の有効性、安全性を明らかにし、今後の診療のさらなる改善に努めます。

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「氏名、カルテ ID、住所を削除した情報（どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として統計学的手法により解析します。

研究の期間

2023 年 3 月（研究許可後）～2034 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学医学部泌尿器科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田耕一郎

研究結果の公開

この研究は、腎移植を受けた方の情報をまとめ、島根大学医学部泌尿器科のホームページに公開する、あるいは学会発表や論文として社会に発信する可能性があります。

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ、お申し出以降はご自身の情報を除いて研究を行います。

お申し出の期間は、1988 年から 2023 年 3 月までの腎移植ドナー・レシピエントの方は 2023 年 9 月までに、2023 年 4 月以降の腎移植ドナー・レシピエントの方は手術を受けてから 6 か月以内とさせていただきます。これを過ぎてお申し出頂いた場合、すでに発信された研究結果につきましては、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがありますのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田耕一郎

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2256 FAX 0853-20-2250